

# 第1章 現場が直面するチームワークの問題と課題

## 1-1 良いチームワークとは

### POINT

- チームワークの基盤は良い人間関係にある
- 1人ひとりの「使命感や責任感」「ルールの遵守」が連携を支える

### チームワークとは

人が2人以上、何か達成したい目的を持って集まった時、そこにチームが生まれる。仕事では、部・課・班などの組織の他、整理・整頓・清掃や改善活動などのプロジェクトの集まりもチームである。

1人ではできないことが、チームで取り組むことで実現可能となる。チームの力は、チームのメンバーが目標を共有して、役割を分担し、協力し合い、それぞれが最善の努力をする時、大きく発揮される。

チームワークとは、このチームの力を発揮するためのチーム内の連携・行動であり、その基盤は人間的な信頼関係・良い人間関係にある。

### リハビリ病棟の医療チームの事例

ここで、異なる専門能力を備えたメンバーがチームをつくり、共通の目標(患者の治療)に向かって協力するリハビリ病棟の医療チームの事例を見てみよう(図1)。

#### 1. リハビリ病棟とは

リハビリ病棟とは、脳卒中・脊髄損傷などの患者が、退院後の家庭生活復帰を目指して身体的機能の回復を目指す入院病棟である。医師を中心に、看護師、介護士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、栄養士などの医療専門スタッフが1つのチームとなって、患者の治療に当たっている。

#### 2. リハビリ病棟のチームワークの特徴

脳卒中患者の場合、機能回復訓練(リハビリ)の治療効果は、発病直後の急性期(約2週間)とその後の回復期(数カ月間)で大半が決まるとされる。

この期間内に最大の効果を上げるため、医療専門スタッフにはチームとして一体になって取り組むことが求められている。

そこで医療チームは、患者個人に回復目標を設定し、全メンバーがその目標を共有し、密接に連携して治療に当たる。たとえば、身体機能の回復リハビリを担う理学療法士が患者に機能回復に関する変化を見つけたら、速やかに日常生活に必要な動作練習を行う作業療法士に連絡し、作業療法士は動作練習プログラムを見直す。また、看護師は、理学療法士・作業療法士と密接に連絡を保ち、リハビリの成果を病棟での患者の生活に取り入れて、退院後の家庭生活に備えていく。

この連携を支えるのは、1人ひとりの使命感や責任感と、情報共有のルールの遵守である。

### 「良いチームワーク」の特徴

良いチームワークとは、チームの目的や置かれた状況、関係する人などによって異なり、一般化することはできない。どのような状況の時であったか、何が問題だったか、どのような人が集まっていたか、といった背景によって変わる。

そこで、過去から現在までを振り返ってみて、あなたが「良いチーム」または「強いチーム」と感じたチームを、会社だけでなく、スポーツやクラブ活動、地域の活動など、広く思い起こしてほしい。

表1に、良いチームだったと思うチームの特徴を箇条書きで書き入れ、それぞれについて、表2に記すチームワークの要素のいずれに当たるか選択してみよう。それが、あなたがチームワークで重視している要素である。

図1 リハビリ病棟の医療チームの良いチームワークの事例



表1 あなたが「良いチーム」または「強いチーム」と感じたチームの特徴

	特徴の中でも重要だと思うこと	要素
1		
2		
3		
4		
5		

表2 チームワークの要素

・一体感 ・やる気・意欲 ・目標 ・役割分担と協力 ・情報共有 ・対話 ・人間関係 ・その他 ( )
---